



学校だより

12月号

令和7年(2025年)12月3日

門真市立門真小学校

校長 植原 宏仁



【教育目標】

『未来を切り拓く生きる力の育成』

【めざす子ども像】

○自らねばり強く学ぶ子

○思いやりのある子

○自尊心の高い子

○心身ともにたくましく健やかな子

校外学習 of 門真小学校

2学期の校外学習は、4月から育んできた力（子どもが主体的になれるような活動や探究的な活動、集団行動、人間関係等）を児童が発揮できるように、この時期に設定されています。友だちの人間関係に加え、学校外の人とかかわり、校外での振る舞い等、実際に社会の様子を自分たちの目で見ながらの学びでもあります。今後、3月までの残りの期間は、校外学習で見た育まれている力をより確かなものにするように取り組む一方で、見えてきた課題面についても改めて力を育めるように取り組みを考えたりと、校外学習での子どもたちの姿から引き続き教育活動について考えていきます。

今回は、各学年の校外学習の様子をお伝えします。

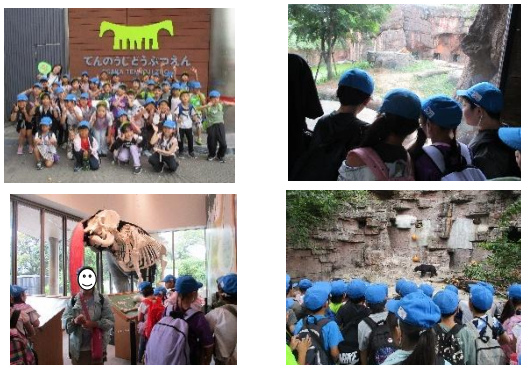
【1年生】万博記念公園・ニフレル

午前中は、おもしろ自転車や大きな滑り台で遊んだり、秋探しをしたりしながら、友達と声を掛け合い、仲良く充実した時間を過ごしていました。お弁当を食べたあとは、ニフレルの見学です。子どもたちは、さまざまな生き物を間近で見ることを楽しみ、興味をもって見学する姿が見られました。



【2年生】天王寺動物園

決められた時間を守りながら、グループで声を掛け合い、さまざまな動物を見学することができました。あいにくイベントの関係で、てんしばでは遊ぶことができませんでしたが、子どもたちは動物に親しみをもち、楽しく見学を進めていました。



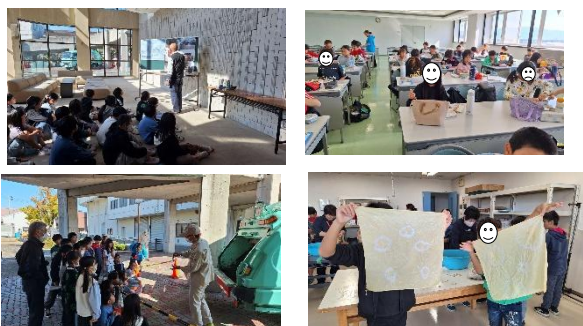
【3年生】キッズプラザ

キッズプラザまでの往復の電車では、周りに気を配りながら声を掛け合い、マナーを守って過ごすことができました。館内でも、グループ活動でルールを守り、友達と協力しながらさまざまな体験を楽しみ、充実した時間を過ごしていました。



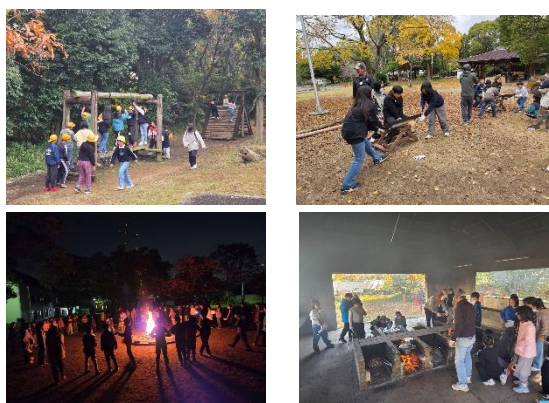
【4年生】リサイクルプラザ

クリーンセンターで働く人から、ごみがどのように処分されていくのかの話を聞きながら、働く人の様子を見学しました。また、たくさんのごみが大きなクレーン車で釣り上げられる様子を見て、大きな歓声を上げていました。午後からは、たまねぎの皮を使った染め物体験もしました。



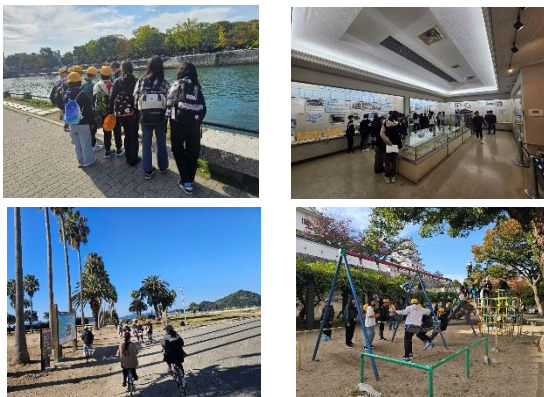
【5年生】林間学舎（信太山）

1日目は、ハイキング・巻き割り・焼き板体験・キャンプファイヤーをしました。2日目は、火おこし・カレーづくりをしました。キャンプファイヤーは、大盛り上がりでした。



【6年生】修学旅行（広島市内・大久野島）

1日目は、広島市内に到着後、平和記念公園をグループに分かれボランティアスタッフの案内のもと碑めぐりを行うなど平和学習を行いました。2日目は、大久野島で、グループに分かれ、体験プログラムに取り組みました。



12・1月の行事予定

12月	3	水	個人懇談
	4	木	個人懇談
	5	金	個人懇談
	8	月	個人懇談
	9	火	個人懇談
	10	水	委員会活動
	11	木	全学年人権出前授業 (多文化教育)
	17	水	クラブ活動 居住地交流
1月	22	月	児童集会
	23	火	給食終了 6年ボッチャ体験
	24	水	終業式
	8	木	始業式
	9	金	給食開始
	14	水	委員会活動
	16	金	4年遠足
	21	水	クラブ活動 3年クラブ見学
	28	水	6年制服採寸 (放課後)

☆12月の校庭開放

… 7日、14日、21日、28日
のいずれも午前中

☆1月の校庭開放

… 10日、17日、24日、31日
のいずれも午前中

個人懇談会、開催中です。

(期間：12月3日～12月9日)

お忙しい中、時間を調整いただきありがとうございます。

2学期のお子様の成長や頑張りを
お伝えさせていただき懇談会です。
よいところ、がんばったところをお
家でも承認（肯定的にみとめるこ
と）いただきたいと思います。
そういうことが出来るお子様を大
いに褒めてあげてください。

また、これからがんばりが必要など
ころは、引き続き学校でも取り組ん
でいきます。家庭と学校で連携させ
ていただきたいと思いますのでよ
ろしくお願いいたします。

◎のびのび学級の実践『のびのび交流会』 めあて：1年生に楽しんでもらおう。

本校の教育活動では、子どもたちにとっての『出番』・『役割』・『承認』・『称賛』の場をどのようにつくるかを考え計画しています（「門真市開発的生徒指導」に則った取組で、非認知能力の育成につながるとされています。「発達支持的生徒指導」ともいわれています）。実際どうということかを具体的に、12月2日ののびのび学級の実践を例に説明します。



手作りポスター



1年生の前で説明中

『出番』

1学期から児童に育んできた力を発揮する場として、のびのび学級の先生方は、「のびのび学級と1年生の交流会」を考えました。

『役割①』

今回の主催は、のびのび学級の児童です。なので、45分間で1年生に楽しんでもらうプログラムをこの日のために考えました。「プログラムを考える」ときにも、役割が一人ひとりにありました。

- ・1年生はどんなゲームだったなら楽しんでもらえるか考える
- ・そのゲームをするために、どんな役割が必要か考える
- ・全体の説明をする
- ・ゲームの説明をする
- ・受付をする
- ・景品を渡す

当日のプログラムは、2つ「宝探しゲーム」と「動物ジャンケンゲーム」です。

『役割②』

それぞれのゲームを実施するために、説明する人・受付をする人・商品を渡す人など、『役割』があります。



ゲームの説明



宝を探す1年生



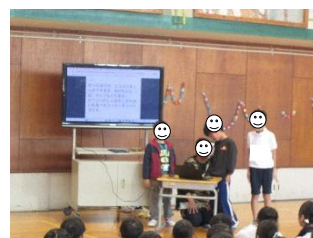
商品の交換に並ぶ



受付の担当



終わりの説明役



2つ目のゲームの説明役



楽しむ1年生



景品交換役



インタビュー役

『承認』

- ①この日までに「準備ができたこと」を、のびのび学級の児童は、先生から承認（肯定的に認められる）されます。
- ②この日の各役割の仕事ぶりについては、後日、のびのび学級の授業の中で、振り返り、先生からと一緒に頑張ったのびのびの友だちから承認されます。

『称賛』

のびのび交流会の最後に、1年生からこの時間がどうだったのか、感想を伝えてもらいました。

1年生、みんな楽しかったようで、感謝の気持ちを伝えていました。

そして、1年生全員から「ありがとうございました」の言葉と気持ちをもらっていました。

1年生にとっては、この経験が、次は私たちが誰かに喜んでもらえることをしたいという気持ちにつながっていつてくれることを願っています。

表で紹介した校外学習においてもこの視点で計画しています。

